慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	平良, 沙織(Taira, Saori)
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2012
Jtitle	新版 窮理図解 No.11 (2012. 9)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000011-0010

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

心の在りか―脳の不思議

満倉靖恵

心はあらゆる動物の中で人間だけが持っているものと言われています。最近では、犬などの動物が笑ったり、悲しんだりするのではないか、と言われていますが、まだきちんと解明されているわけではありません。わが家には4頭の犬がいます。私には彼らが笑っているように見えたり悲しんでいるように見えたりしますが、それはあくまでも人間の勝手な思い込みであって、人間がそう解釈しているにすぎないのです。

ところで、人間の心ってどこにあるかご存知ですか。心臓？いいえ、脳です。

そう考えると、人間の脳はとても不思議なものですよね。喜怒哀楽を感じ、五感で捉えたおびただしい量の情報をうまく処理しています。あ、それから第六感もありますね。第六感を解明する「第六感工学」をやられている先生もいらっしゃいましたが…。そこまでいくと、哲学も絡んでくるので難しいですね。

よくイルカは賢いと言われていますが、イルカの大脳は人間の大脳に比べてはるかに大きくて、その脳は人間にない能力、例えば超音波を聞き分けて自分と相手との距離を測ることなどに使われています。また、チンパンジーは人間と似た構造に進化した脳をもっており、いずれその脳が発達して人間なみの心を持つようになるかもしれません。映画『猿の惑星:創世記(ジェネシス)』みたいな世界です。

話は戻りますが、人間が持つ五感センサ（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚）に入ってくる刺激のなかでいちばん脳に影響があるのは視覚だそうです。目の疲労が脳に大きな影響を及ぼすことも分かっています。現在、インターネットでメガネを購入する場合、度数さえ申告すればメガネを購入できます。それが過去の情報であっても使えるのです。でも、これは危険なことで、度数が合わないメガネをかけていると、脳のストレス状態が続き、物忘れなどにつながるという研究結果もあります。

一口に脳と言いますが、脳はたいへん奥が深く、まだまだ分かっていないことがたくさんあります。究極は「なぜ、心（感情）が生まれたか」ですよね。

たまに、感情さえなかったら…と思うこともあります。でも一晩寝たら、感情があってよかった！と思っています。これも感情のはたらきですね。

理 工 学 Information

KEIO TECHNO-MALL 2012
第13回慶應科学技術展「理学の熱情、工学の情熱」

http://www.kll.keio.ac.jp/ktm/
2012年12月7日（金）10:00～18:00
東京国際フォーラム　地下2階（展示ホール2）
入場無料・事前登録不要

慶應義塾先端科学技術研究センター（KLL）主催の科学技術展。本年度も約80テーマの実物展示やデモンストレーションのほか、研究者によるラウンドテーブルセッションを開催。メインイベントとして、作家 瀬名秀明氏による基調講演と理工学部研究者を交えた「サイエンス・創造・エモーション」をテーマとするトークセッションを行います。

第16回KLL慶應義塾産学連携セミナー

http://www.kll.keio.ac.jp/
2013年2月22日（金）

機械工学の基盤テーマとも言える「精密加工」「アクチュエーション」「シミュレーション」等の研究活動をご紹介します。詳細は上記Webサイトにて順次公開予定です。

©慶應義塾大学

第15回産学連携セミナーの様子

編集後記

満倉准教授は一言では説明が難しいほど、さまざまな側面を持っている人物です。とてもパワフルなので、仕事も勢いよく片付ける「ブルドーザー」型かな、と思っていたら、ブルドーザーが通過したあとには、ローラーのごとく、きちんと調整が入ります。考えてみれば研究者は、設計はもちろん、パワーショベル、ブルドーザー、ローラーやクレーンなど、一人で何役もこなさなければならないのかもしれませんね。

これまでに複数の大学での勤務経験がある満倉准教授ですが、インタビューで「安住の地を見つけました」と語ってくれました。研究室にはすでに、博士課程の学生も所属しており、慶應の自由で団結した校風のなか、ますます研究が発展していくことを願っています。

（平良沙織）

新版 窮理図解

No.11　2012　November

2014年、理工学部創立75年。

編集　新版窮理図解編集委員会
写真　邑口京一郎
デザイン　八十島博明、石川幸彦（GRID）
編集協力　サイテック・コミュニケーションズ
発行者　青山藤詞郎
発行　慶應義塾大学理工学部
〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1
問い合わせ先（新版窮理図解全般）
kyurizukai@info.keio.ac.jp
問い合わせ先（産学連携）
kll-liaison@adst.keio.ac.jp
web版　http://www.st.keio.ac.jp/kyurizukai
twitter　http://twitter.com/keiokyuri
facebook　http://www.facebook.com/keiokyuri